

### 第3章 まとめ 本調査結果を踏まえた今後の課題

本調査では、市町村男女共同参画担当課に、県内6か所にある地域男女共同参画ネットワークの課題や必要な支援等について回答いただいた。まとめとして、今後の地域男女共同参画ネットワーク活動の活性化に向けて、市町村に期待されること、青森県男女共同参画センターに求められる支援について記載する。

#### 1. 地域男女共同参画ネットワーク活動の活性化に向けて

##### (1) 課題は「人材不足」「高齢化による会員の減少」「担当者の知識不足」

地域男女共同参画ネットワークの活動や取組の状況からみると、「加入団体・個人及び市町村ともに活発に取り組んでいない」が25%あった。当該地域の課題としては、地域に新たなネットワーク会員となり得る人材がいないことや、高齢化による会員の減少、担当職員の学習機会が少ないことに起因する知識不足が挙げられた。

市町村内の団体・個人の加入状況からみると、加入している団体・個人がいない地域が3割強あり、ここでも人材不足を訴えていた。

##### (2) 加入促進は「広報誌の活用」と「直接の声がけ」

今後の団体・個人の加入に関しては、掘り起こし、加入呼びかけともに行わないが4割弱で最多であった。すでに活発な活動を行っているためこれ以上の取り組みは行わないとするものから、現在も加入団体・個人及び市町村ともに活発に取り組んでいないところまで背景は様々であった。

具体的な加入呼びかけ方法に関しては、広報誌の活用や団体・個人に直接声がけをする方法が目立ったが、現在加入中の団体からの聞き取りで関連団体を探し、呼びかけを行うとするものもあった。

##### (3) 目的・意義の共有と事務局負担の軽減

市町村職員については「市町村担当者の学習機会不足」、「ネットワークへの加入のメリットを説明できない」「市町村担当者が主導している」「事務局の負担が大きい」等が課題として挙げられた。市町村担当者は、およそ6割が担当1年目であり、2年目と合わせても8割弱が男女共同参画の取り組み経験が浅い職員であった。

その他、地域ネットワークの目的があいまいという指摘もあり、基本的な認識の共有を図る必要性が浮かび上がった。

##### (4) 必要な「学習機会」「情報交換」「コミュニケーション力」

調査結果から、まずは、市町村担当者に対して、地域男女共同参画ネットワークの意義と必要性を学ぶ機会の提供が最優先と思われる。

次に、市町村担当者を対象とした情報交換の場を設け、他地域の取り組みや課題解決の方策などを共有し連携の機会を図ることも必要である。

更に、年度の初めに、市町村担当者を対象とした男女共同参画講座を実施し、男女共同参画社会の必要性と市町村担当者の役割について学ぶことも必要と思われる。

団体・個人の加入については、男女共同参画の視点で活動している団体のみならず、まちづくりや子育て、防災等さまざまな団体や企業にも幅を広げていくことが求められる。コロナ禍が続いているが、日頃から市町村の多様な人財とのコミュニケーションの構築を意識し、気軽に声を掛け合える関係づくりが重要になってくると思われる。

## 2. 青森県男女共同参画センターに求められる支援

男女共同参画センタは、男女共同参画社会の実現に向けた活動の拠点施設として、男女共同参画に関する情報提供、女性グループ、団体の自主的活動の場の提供、相談、調査研究等多様な機能を果たし、人材育成や効果的な事業展開を通じ、これらの拠点の一層の充実や他機関との有機的な連携が図られるよう支援することが求められる。

### (1) 求められる支援は「情報提供・相談・助言」

当センターとの関わりの中で有用だった支援について、「情報提供・相談・助言」を挙げたものが多かったが、講座の企画や講師、広報等についての相談が多く、一つひとつ丁寧な対応を心がけていきたい。ニーズが高かった男女共同参画講座の講師派遣についても、男女共同参画の視点による防災講座と共に継続していきたい。

また、各地域での取り組みについては、当センターHPの「地域男女共同参画ネットワーク情報」又は「講座・イベント情報」にて紹介しており、今後もこのような支援を継続していきたい。

あおりウィメンズアカデミー地域女性リーダーコースでは、地域における様々な課題を男女共同参画の視点を踏まえて解決し活躍できる女性人財の育成とネットワークづくりを目指しており、市町村と共に受講生に向けた地域ネットワーク加入の促しを積極的に行っていきたい。

### (2) センター職員の意識の醸成

今後とも、センター職員一人ひとりが、組織としてだけでなく個人としても人脈を広げることを意識し、事業やその他での出会いをネットワークに繋げられるように支援していくことが必要である。

## 3. 調査結果を踏まえて

本調査結果を踏まえて、市町村男女共同参画担当者情報交換会を実施した。

(1) 実施日時：令和4年3月15日（火）13:00～15:00

(2) 実施方法：ZOOMを使用したWeb会議

(3) 参加者：35名（29市町村）

(4) 内容

#### ①基調講演

テーマ「地域男女共同参画ネットワークの意義と必要性」

#### ②グループ討議

テーマ「地域男女共同参画ネットワーク事業の活性化について」

(5) 報告書の作成・送付

上記についてまとめた報告書を各市町村に送付し、情報の共有を行った。（別添参照）